

県外視察先地の概要

【横浜公園】面積:63,787 m² 都市公園(総合公園)

横浜公園は、横浜の中では2番目に古い公園で、明治9年に開園、当時は“彼我(ひが)公園”と呼ばれていた。明治42年に公園全域が横浜市の管轄となり、公園内の平和球場で高校、大学、ノンプロの野球試合が数多く行われてた。昭和53年に横浜スタジアムが建設されたの機に、園内の老築化した諸施設を改築、日本庭園風の池と流れ、噴水や多目的広場等が整備されている。

■横浜スタジアム 事業者：株式会社横浜ベイスターズ

施設は横浜市が所有し、市などの出資による第3セクター・株式会社横浜スタジアムが運営管理を行っている。

横浜市との公園施設の寄附に関する契約に基づき、横浜市よりスタジアムの使用許可及び管理許可を受けて、職業野球興行、催し物開催のための施設の運営及び賃貸、物品の賃貸、広告、放映放送契約、場内売店等の経営を行い、これらの観客、利用者お対象に入場券、キャラクターグッズ等の販売、その他サービス業務の事業活動を展開している。

2016年にディー・エヌ・エーの連結子会社である株式会社横浜DeNAベイスターズが76.9%の株を保有したことにより、ディー・エヌ・エーが球団とスタジアムを一体運営体制に移行している。

【山下公園】面積：74,121 m² 都市公園(風致公園)

関東大震災の復興事業として市内の瓦礫などを大正14年から4年がかりで埋立てを行った。戦後は米軍に接収されましたが、昭和29年から段階的に解除され、昭和36年に再整備が完了し現在の形となっている。

■山下公園レストハウス運営事業 事業者：株式会社ローソン

平成18年度に実施した山下公園レストハウス管理運営事業者公募により、“山下公園レストハウス ハッピーローソン山下公園”が平成19年7月よりオープンしている。当初は、子育てファミリー向けサービスとして遊具が設置されていたが、平成29年度の再公募の際により広い多世代が利用できる空間としてリニューアルされている。

管理許可区域の中にトイレ等を含むことで、行政側としては維持管理の削減、使用料による収入が確保され、かつ民間ノウハウによる子育てファミリーを中心としたサービスの提供が行えている。

【アメリカ山公園】面積：5,519 m² 都市公園(風致公園)

指定管理者：アメリカ山公園パートナーズ(代表：西武造園株式会社)

駅舎のある元町地区と外人墓地のある山手地区では約18(m)の高低差があるが、民有地にある駅の上部(3・4階、屋上)を横浜市が保有して屋上庭園を設置し、さらにエスカレーターやエレベーター等の昇降機を設置することで駅舎から直接入園できる経路を設けている。平成16年の

都市公園法改正に基づき制度化された“立地都市公園制度”を適用した全国初の立体都市公園である。民間事業者のノウハウを活用、テナントを誘致し便益施設の運営をはじめ公園施設の管理運営を行っている。

公園内の施設には、保育所、ブライダル専門店が入店している。

【南池袋公園】面積:約7,800 m² 都市公園(街区公園) ※指定管理者なし(豊島区が管理)

以前の南池袋公園は、住所不定者の住处、風営施設や繁華街とも隣接していた影響で、本来地域住民の憩い場としての公園が機能していなかった。平成26年1月に“現庁舎周辺まちづくりビジョン(案)”を発表。当該公園を日頃から安心して憩える場所、災害時には帰宅困難者対策を担う機関として整備が計画されるとともに、立地を生かした魅力的な店舗を誘致することで、公園利用者に質の高い憩いの場を提供し、周辺の賑わいの創出を図る目的でカフェレストラン設置に至っている。※複合施設(カフェ、管理室、備蓄倉庫、トイレ)

カフェレストランの事業者は、株式会社グリップ・セカンド(地元事業者)であり、カフェを含んだ複合施設内のトイレ清掃及び、ゴミ処理の一部など公園管理の一部を担っている。

南池袋公園の運営に関しては、多様な主体者による公園運営が持続可能な公園経営が実現のため“南池袋公園をよくする会”を設立している。運営組織は、地元商店会1名、自治会1名、寺院3名、学識経験者(コンサルタント)1名、カフェ事業者1名、区職員2名で構成されている。

主な活動としては、全てではないが行政以外の目による公園のルールづくり、公園の魅力向上のためのワークショップを開催している。なお公園を利用したイベントの開催申請については、“南池袋公園をよくする会”に諮り審議を行い、その結果を受けて公園管理者(豊島区公園緑地課)が許可するかを決定している。

【勝山公園】面積:19.5 ha 都市公園(総合公園)

指定管理者：北九州パークマネジメント共同事業体

構成:岡崎建工株式会社、RKB毎日放送株式会社、NPO法人NORTH NINE

業務内容

①岡崎建工株式会社:造園設計、施工並びに維持管理

②RKB毎日放送株式会社:放送事業、各種催物の企画・製作・販売・興行

③NPO法人NORTH NINE:地域活性化イベントの企画・運営、人材育成に関する教室の開催

勝山公園は、北九州市のシンボル公園に位置付けられ、その立地、規模、敷地内外に柴川や小倉城など様々な資源を有することから潤いや市民の憩いの場、防災等の機能はもとより、都市のシンボルとしての役割を担っている。

公園内の主な主要施設としては、小倉城、中央図書館、小倉城庭園、松本清張記念館、弓道場、大芝生広場がある。

■勝山公園鷗外橋西側詰広場における便益施設

事業者：有限会社 グリーズ 事業内容：珈琲所 コメダ珈琲店(北九州勝山公園店)

勝山公園内における鷗外橋西側詰広場において、公園利用者へのサービス提供を行うための公園施設を民間活力の導入により整備し、公園利活用者の利便性を向上するとともに、都心におけるオープンスペースとして、さらなる魅力向上を目的に公募を行った。なお、当該事業については、制度改正の時期と重なったこともあり公募設置管理制度(Park-PFI)の活用事例第1号となっている。

【福岡県大濠公園】面積:39.8 ha 都市公園(総合公園)

指定管理者：西鉄グループ公園管理団体

指定管理者は、大濠公園に隣接する西公園と一体で管理運営を行っている。

福岡城の外濠で、大きな池が特徴的な公園である。池を貫くように島がいくつか存在し、それぞれが橋でつながっているため、中央部を経由して池全体を渡ることができる。

公園内の施設については、下記のとおり。

- ①スターバックスコーヒー大濠公園店(平成22年開業)→事業者:スターバックス
- ②ボートハウス大濠パーク(平成27年開業)→事業者:ロイヤルホールディングス
・レストラン花の木、ロイヤルガーデンカフェ、パークショップ、レンタルボート
- ③大濠公園能楽堂
- ④福岡市美術館
- ⑤日本庭園

■大濠公園をよくする会(任意団体)

ゴミ、清掃マナーアップ委員会、犬・猫・その他動物問題 マナーアップ委員会、花壇・緑地帯マナーアップ委員会等。

当該会において取り纏めた意見等を公園利用者へお願い、又は管理者へ提案することで問題事項の解決に至っている。

平成30年には、公園の南側に位置する日本庭園の観光資源としてのポテンシャルをさらに高めるために、隣接する箇所に日本茶をテーマとした和風カフェの公募に向けたサウンディング調査を実施している。